

# 学校プールのヤゴ捕獲・トンボ池への放流

平成23年10月6日  
下羽栗小学校

# プールのヤゴ捕獲・放流

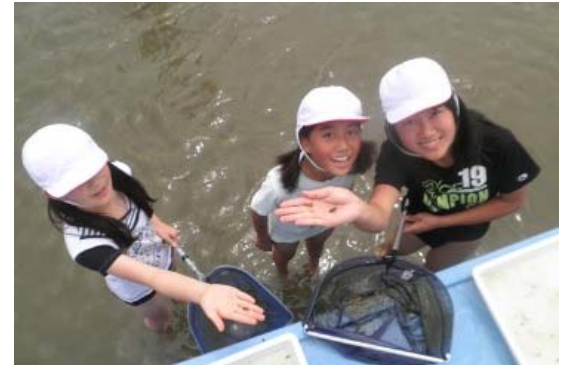
- 地域との連携や協働による池の再生を目的に、学校プールのヤゴを捕獲し、トンボ池に放流する活動を行いました。
- 6月3日に下羽栗小学校の児童（6年生）で捕獲し、6月6日（月）に放流しました。



プールを掃除しながら観察・捕獲



網を使ってヤゴをすくう



かわいいでしょう！



どんなヤゴが多いのだろう



捕獲したヤゴ（800～1000匹くらい）



自分のヤゴは元気かな？

## 参加した感想など

- ヤゴが怖くて、はじめは触れなかったけど、今は平気。（児童）
- ヤゴを救出できて良かった（児童）
- プールに、こんなにたくさんいるなんて知らなかった。（PTA）

# プールのヤゴ捕獲・放流



トンボ池を守る会より講話



僕のヤゴは、アカトンボ型？



自分たちの手で放流



元気でね！



ヤゴを放流しました！



また、トンボを見にきたい

## 参加した感想など

- 無事に成虫になると良いと思う。(児童)
- 皆が放流したヤゴが、これから成虫になって再び下羽栗小学校に卵を産みに来る。卒業しても、トンボ池のことを思い出して、環境を意識してほしい(教師)

# プールのヤゴ捕獲・放流

◆下羽栗小学校のヤゴの放流がニュースになりました。

平成23年6月8日(水)	中日新聞	朝刊14頁
--------------	------	-------



笠松町中野の下羽栗小学校の児童が六日、同町無動寺堤外のトンボ池に約六百匹のヤゴを放流した。写真は、トンボ池では一九八

**トンボ池にヤゴ 児童ら600匹放流**  
笠松の下羽栗小

八年の調査で三十八種類のトンボが確認されたが、二〇一〇年には二十九種類に減少。トンボを増やそうと、同校はプールに生息するヤゴを採って、池に放流する活動を同年から始めた。

参加した六年生五十三人は、コップにヤゴを入れて「元気に育ててね」と声を掛けながら池に放った。ヤゴは早いものは約一カ月でトンボに羽化するとい

池にはたまに来るの  
で、大きくなってトン  
ボ池で見られるとこ  
な」と話していた。  
(石井宏樹)

笠松町中野の片桐礼菜さん(こ)は「トンボ

中日新聞  
平成23年6月8日

平成23年6月7日(水)	岐阜新聞	朝刊20頁
--------------	------	-------

**元気なトンボに育って**  
笠松町児童、池にヤゴ放流

羽岡町笠松町中野の「寺のトンボ池」で、下羽栗小学校の6年生、ボの幼虫「ヤゴ」の放流活動に取り組んだ。



児童らは「大きくなあれ」などと声を掛けながらヤゴを放流。写真は、笠松町無動寺、トンボ池

児童らは「大きくなあれ」などと声を掛けてヤゴを池に放した。トンボ池は、木曽川の河川改修工事によってできた河跡湖(かせき)で、多様な生物が生息していたが、近年は環境が悪化。地元市民グループ「トンボ池を守る会」や学童経験寺、国交省木曽川上流河川事務所などが保護活動に力を入れている。

トンボ池の近くにある同校は昨年度から、秋以降に学校のプールで育ったヤゴをトンボ池に放流。今年は約一千匹を捕獲した。児童はコップに入れたシオカワトンボやアカカネなどのヤゴを、そと池に放流。岩田幸奈さん(11)は「一生懸命にヤゴを捕った。元気に育ってたくさん飛んでほしい」と話していた。  
(藤原勝彦)

岐阜新聞  
平成23年6月7日